

中小企業成長支援ファンド
「New Life Science 1号投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称：中小機構 所在地：東京都港区 理事長：高田坦史）は、新事業開拓促進出資事業（ファンド出資事業）において、New Life Science 1号有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として25億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。なお、本出資は、中小機構が行っている「健康・医療事業分野投資促進出資事業」の公募に対して応募があったものです。

『New Life Science 1号投資事業有限責任組合』は、日本発の革新的な医薬品創出を目指す創薬分野のベンチャー、またテクノロジーを活用した高度医療介護の実現、医療費高騰や過疎地域の医療サービス低下などの社会問題の解決に貢献するデジタルヘルス分野のベンチャーに対し、成長資金と積極的な支援を提供することを目的とするファンドです。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、日本の中小企業政策の総合的かつ中核的な実施機関として、全国の中小企業への支援をトータルで行う経済産業省所管の独立行政法人です。生産性向上や事業承継など様々な課題を抱える中小企業に対して、販路開拓、海外展開、人材育成、事業引継ぎ、その他経営面での助言、情報提供、並びに共済制度、ファンドを通じた資金提供など多様な支援を実施しています。

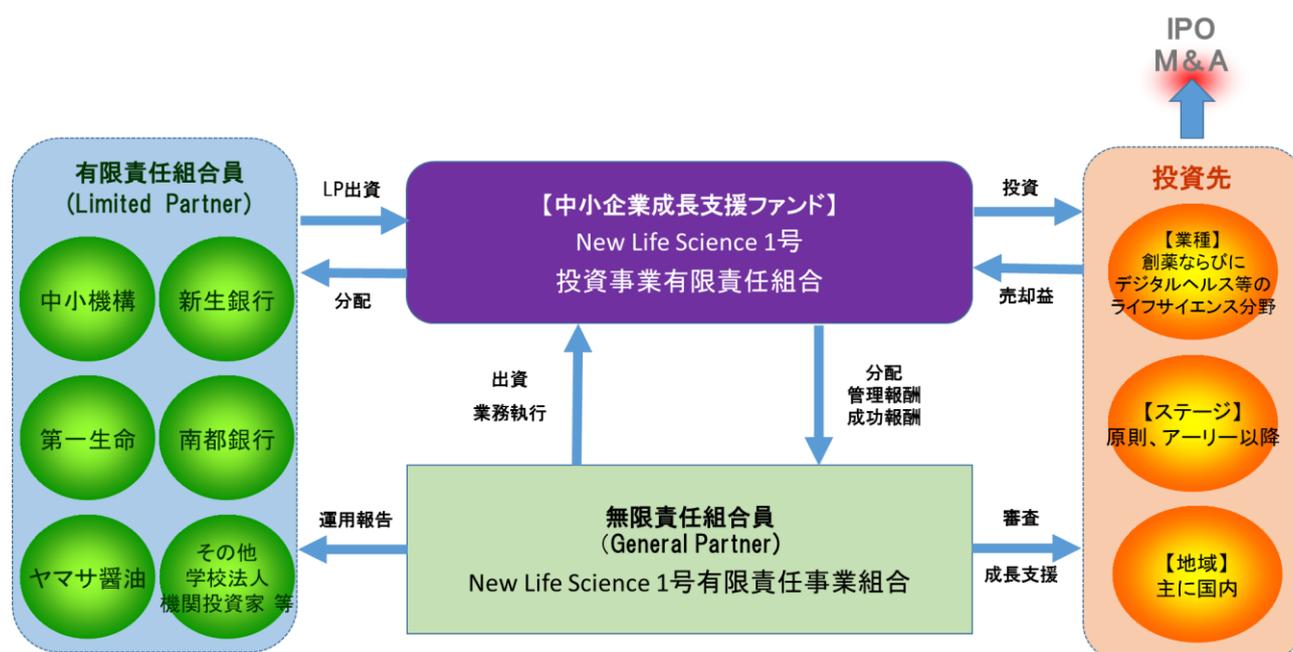
<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：久保、豆谷）
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
電話：03-5470-1570（ダイヤルイン）

◆「New Life Science 1号投資事業有限責任組合」の概要

- 「New Life Science 1号投資事業有限責任組合」は、New Life Science 1号有限責任事業組合を無限責任組合員として、平成31年2月に設立された投資ファンドです。
- New Life Science 1号有限責任事業組合は、新生キャピタルパートナーズ株式会社（所在地：東京都中央区、代表取締役：中村学）及び同社投資チームの出資により設立された、上記ファンドの運営事業体です。
- 新生キャピタルパートナーズ株式会社は、新生企業投資株式会社のライフサイエンス分野に対する投資業務をカーブアウトして設立された、金融及び医薬品開発の専門家で投資チームを構成するベンチャーキャピタルです。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

中小企業成長支援ファンドについて

http://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_02.pdf

中小機構ファンド事業出資実績

http://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf